

平成24年行政事業レビューシート (内閣官房)

事業名	宇宙開発利用施策促進経費		担当部局	宇宙開発戦略本部事務局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度		担当課室			参事官 國友 宏俊		
会計区分	一般会計		施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	宇宙基本法 地理空間情報活用推進基本法 (第三条、第二十条、第二十一条)		関係する計画、通知等	実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方 (平成23年9月30日宇宙開発戦略本部決定及び閣議決定) 宇宙基本計画(平成21年6月宇宙開発戦略本部決定) 地理空間情報活用推進基本計画(平成20年4月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」(平成23年9月30日閣議決定)を踏まえ、実用準天頂衛星システムの整備に必要な国際周波数調整や仕様等の策定を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」(平成23年9月30日閣議決定)において、実用準天頂衛星システムの整備に可及的速やかに取り組むとされたことを踏まえ、測位衛星の補完機能(測位可能時間の拡大)や、測位の精度や信頼性を向上させる補強機能等を有する実用準天頂衛星システムを整備・運用することにより、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に資する。本事業は、こうした実用準天頂衛星システムの整備に向けた、国際周波数調整及び推進のための調査である。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		繰越し等	-	-	△632	632		
		計	-	-	35	632		
		執行額	-	-	6			
	執行率(%)	-	-	17				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	平成24年度に、4機体制の整備並びに地上システム整備及び運用についての契約を締結し、事業に着手する。		成果実績		-	-	0	事業着手
			達成度	%	-	-	0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業着手に必要な各種仕様書等の作成		活動実績(当初見込み)		-	-	0	-
					-	(-)	0	1式
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				平成23年度限りの調査である(平成24年度繰越し)。				
				0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」(平成23年9月30日閣議決定)において、実用準天頂衛星システムの整備に可及的速やかに取り組むことが決定されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札等を適正に実施するなど、資金の流れ、使途等の適正さの確保に努めた。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	調査は平成24年度に繰り越して実施しており、平成24年度中に必要な調査結果が出そろう、同年度中に衛星システム整備事業と地上システム整備及び運用事業の着手が可能になる予定である。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	目的・予算の状況、資金の流れ・費目・使途の観点から、本事業は適切に実施されていると評価。なお、成果等は平成24年度に出そろう予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に留意すべき。(23年度限り)		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	平成24年6月に内閣府設置法等の一部を改正する法律が成立したことにより、当該事業に係る事務は、引き続き内閣府で実施していくこととしており、適切な事業管理や効率的執行に努めているところ。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記入

宇宙開発戦略本部事務局
6百万円

〔実用準天頂衛星システムの整備等推進調査〕

A. 職員旅費(5名)
6百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A. 職員旅費					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	職員旅費(5名)	6.4			
計		6.4	計		0.0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	職員旅費(2件)	1.7	-	-
2	個人B	職員旅費(3件)	1.6	-	-
3	個人C	職員旅費(1件)	1.1	-	-
4	個人D	職員旅費(1件)	1.0	-	-
5	個人E	職員旅費(1件)	0.9	-	-